

ラーメン情報誌 全国実売ナンバーワン^{※1}！
『ラーメン Walker』 埼玉版、山形版、関西版を発売
ラーメン Walker グランプリ発表×新店特集×お得な特典満載！

株式会社角川アスキー総合研究所（本社：東京都文京区、代表取締役社長：垣貫真和）は、『ラーメン Walker2026』の第3弾として、埼玉版（2025年10月16日発売）、山形版（2025年10月22日発売）、関西版（2025年10月28日発売）の発売をお知らせします。



今年で創刊17年を迎えるラーメン情報誌『ラーメン Walker』は、おかげさまで全国実売 No.1^{※1}！最新刊となる「ラーメン Walker2026」は、人気のアワード企画「ラーメン Walker グランプリ」や新店特集に加え、切り取って使える「ラーメン店 MAP」を新たに付録として収録するなど、企画をさらに充実させました。

今回、第1弾（8月発売）の東京版、東海版、北海道版、第2弾（9月発売）の宮城版、栃木版、福島版に続き、第3弾として、埼玉版、山形版、関西版の3エリアを発売しました。以降、年内に九州版、神奈川版、静岡版、茨城版、千葉版の刊行を予定しています。

※1：ムック>情報誌>グルメ ラーメン本 2024年8月～2025年6月 タイトル累計売上1位 CDP CANTERA 調べ

■今年の金・銀・銅賞を発表！「ラーメン Walker グランプリ」

「ラーメン Walker グランプリ」では、各エリアでラーメン Walker 編集部が審査対象店（殿堂店を除く）を実食調査し、「スープ」「麺」「具材」「完成度」「創造性」「ホスピタリティ」などの観点で詳細に評価します。その後、ラーメン界で名高い最高峰のプロ集団・百麺人^{※2}との厳正な協議を行い、〈金賞〉〈銀賞〉〈銅賞〉のラーメン店を決定し表彰します。

百麺人には新メンバー1名（ラーメンライター：井手隊長）を迎え、新たな視点も加わった審査体制となりました。

※2「百麺人」…著名人や評論家ら10人の「トップ百麺人」を筆頭に、メディア関係者やブロガーなど地方のラーメン事情に精通した「エリア百麺人」で構成。「トップ百麺人」は山本剛志、はんつ遠藤、田中貴、小林孝充、赤池洋文、ブライアン・マクダクストン、井上淳矢、中嶋享、井手隊長、松本桂汰の10名。



■特典&限定麺企画がさらに充実！切り取って持ち運べる「ラーメン MAP」付録も!!

スペシャル特典をさらにパワーアップしました。毎年好評の限定麺企画にはカードサイズの「限定麺パス」を収録し、本誌を持参せずとも「限定麺パス」の提示で特製メニューをお楽しみいただくことができます。さらに、切り取ってポケットサイズに折りたためば、カバンやポケットに入れて持ち歩くことができる便利な「ラーメン店 MAP」も特別収録しています。



『ラーメン Walker 埼玉 2026』



埼玉版エリア特集1 「今年も激戦！新店ダービー埼玉杯19店！」

2024年10月以降にオープンした埼玉の新店の中から厳選の19店を紹介します。栃木の昆布水つけ麺の名店で修業した夫婦による「3931 WORKS.」、モチモチの極太熟成麺が話題の「御影麺 鎗矢」、辛味噌やチーズカレーなど多彩な背脂まぜ麺が人気の「麺's Bar 堀」など、実力はもちろん、創造性豊かな各店のおすすめポイントを総評コメントと共にご紹介します。



埼玉版エリア特集2 「ニューウェーブ到来! 埼玉つけ麺クロニクル」

うどんやまぜそばなど「麺好き」の県民性を持つと言われる埼玉では、つけ麺も根強い人気を誇っています。創業 25 周年を迎え、濃厚魚介つけ麺ブームの火付け役的存在でもある「頑者」をはじめ、正統派あっさりつけ麺の「丸長系」、多皿のコース風つけ麺が楽しめる NEO つけ麺系など、歴史を彩る名店とニューカマーでひしめく埼玉の最新つけ麺事情を特集します。



『ラーメン Walker 山形 2026』



山形版エリア特集1 「今年も激戦! 新店ダービー山形杯 18 店」

2024 年秋～2025 年夏にオープンした山形の新店から 18 店を厳選しました。自家製麺に力を入れる店の中でも、特に素材や製法に工夫をこらした注目店「手打らーめん キセン」「麺や虎」、県内の激戦ジャンルでもある煮干しに特化した「中華そば 小田商店」「麺屋 (文) 尾形家」などの、際立つ実力派を紹介。さらには「麺屋酒田 in 山形」「中華そば 雲ノ糸 最上川店」「中華そば 花煌 鶴岡本店」と言った、人気と実力を兼ね備えたラーメン店の新たな店舗展開も注目です。



山形版エリア特集2 「走るラーメン店、自治体の取り組みなど！ 山形ラーメン界限」

ラーメン消費額日本一連覇※3を達成した山形市を筆頭に、ラーメン熱の高まりを見せる山形県。その魅力をさらに広げる取り組みとして展開する、専用キッチンカーやイベント、自治体主体の事業など、山形の“ラーメン界限”を特集します。地元の人気店が地域貢献のためにスタートさせたキッチンカーや、山形市がラーメンを観光資源にしようと掲げる「山ラー」施策など、注目すべき取り組みをご紹介します。

※3 山形市の2024年総務省「家計調査」1世帯あたりの中華そば年間支出額より



『ラーメン Walker 関西 2026』



関西版エリア特集1 「今年も激戦！新店ダービー関西杯 17 店」

2024年10月以降にオープンした新店の中から注目の17店をセレクト。関西の名店で腕を磨いた濃厚鶏白湯の「RAMEN JUNKEYS」「麺処 全て」、和ダシ使いが秀逸な「鈴鳴食堂 三番館」など、早くも注目を集めるスーパールーキーを紹介します。ほかにも、麺線の美しさが際立つ鶏清湯の「拉麺兄弟」、どこか懐かしさを感じつつも本格派な豚骨ラーメンを味わえる「中華そば1011」、直系店が大阪に進出した「王道家直系 我道家 OSAKA 本店」など、関西の次世代を牽引する注目店を紹介します。



関西版エリア特集2「甘辛酸っぱな新ジャンル・酸辣チャン麺って何!？」

SNS を中心に大阪で話題となった「中華そば 辻」発案の“酸辣チャン麺”とは何なのか。ABC テレビの横山太一アナウンサーがレポートします。どのようにしてメニューが生まれたのか、甘辛酸っぱい独特な味わいの秘密とは、横山アナが店主に直撃取材します。この酸辣チャン麺にインスパイアされた個性的なメニューを提供する人気店も併せてご紹介します。



【概要】

『ラーメン Walker 埼玉 2026』 ラーメンウォーカームック

定価：本体 950 円（税別）

発売日：2025 年 10 月 16 日（木）

ISBN：9784049112764

雑誌コード：62635-68

判形：A4 判、98 ページ

発売：株式会社 KADOKAWA

発行：株式会社角川アスキー総合研究所

公式サイト URL：<https://www.kadokawa.co.jp/product/322505000202/>

『ラーメン Walker 山形 2026』 ラーメンウォーカームック

定価：本体 950 円（税別）

発売日：2025 年 10 月 22 日（水）

ISBN：9784049112788

雑誌コード：62635-59

判形：A4 判、98 ページ

発売：株式会社 KADOKAWA

発行：株式会社角川アスキー総合研究所

公式サイト URL：<https://www.kadokawa.co.jp/product/322505000204/>

『ラーメン Walker 関西 2026』 ラーメンウォーカームック

定価：本体 950 円（税別）

発売日：2025 年 10 月 28 日（火）

ISBN：9784049112771

雑誌コード：62635-61

判形：A4 判、98 ページ

発売：株式会社 KADOKAWA

発行：株式会社角川アスキー総合研究所

公式サイト URL：<https://www.kadokawa.co.jp/product/322505000203/>

ラーメン Walker について

今、食べるべきラーメンを総力取材で紹介する“日本最高峰”の総合ラーメンメディアです。全国各地のエリア別ラーメンガイドとして展開する“ムック”、ラーメンファンのポータルサイトとして最新ニュースを紹介する“WEB”や“YouTube”、“X”に加え、フジテレビ CS で放送中のラーメン情報番組『ラーメン Walker TV2』や、世界初のメディア連動型リアル店舗『ラーメン Walker キッチン』と、多面的かつ圧倒的なメディア力で、日本の国民食「ラーメン」の可能性を発信しています。

ムック

<https://www.kadokawa.co.jp/product/search/?kw=ラーメン Walker>

WEB

<https://ramen.walkerplus.com/>

You Tube

<https://www.youtube.com/user/ramenwalker/featured>

X

<https://x.com/ramenwalker>

テレビ番組『ラーメン Walker TV2』

<https://ramen.walkerplus.com/tv/>

リアル店舗『ラーメン Walker キッチン』

<https://ramen.walkerplus.com/kitchen/>

株式会社角川アスキー総合研究所について

角川アスキー総合研究所は、メディア運営やコンテンツ制作で培った知見を活かし、調査、コンサルティング、マーケティング、ビジネスソリューション、出版、教育支援など幅広く事業を展開しています。コンテンツ力、メディア力、リサーチ力を総合的に活用し、お客様の課題解決に取り組みます。

公式サイト：<https://www.lab-kadokawa.com/>

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ】
株式会社角川アスキー総合研究所 広報担当 堀
press-cp@lab-kadokawa.com